

令和4年度 第3回川崎市社会教育委員会
有馬・野川生涯学習支援施設専門部会会議録（要旨）

日 時 令和5年 3月14日（火） 10:00～12:00
会 場 有馬・野川生涯学習支援施設 2階フリースペース
出席者 部会長 小倉 敬子（公益財団法人 かわさき市民活動センター 理事長）
副部会長 生駒 みを（菅生中学校区地域教育会議 議長）
委 員 野島 隆行（川崎市立有馬中学校 校長）
本田 明子（川崎市立有馬小学校 校長）
津田 知充（宮前区第一地区社会福祉協議会 会長）
永野 勝（市民委員）
鴨志田 由美（市民委員）
欠席者 委 員 伊藤 昇（有馬町会 相談役）
指定管理者 山口シニアディレクター（アクティオ株式会社）
境館長（アクティオ株式会社）
事務局 宮前区役所生涯学習支援課 齊藤館長、岸本課長補佐

会議の成立（委員8名7名出席）

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

- 1 あいさつ（市民館館長）
- 2 資料確認等
- 3 議 事
 - （1）令和4年度管理運營業務報告について
 - （2）令和4年度利用実績・事業・収支報告について
 - （3）令和5年度事業計画（案）について
 - （4）その他

配付資料

- 資料1 令和4年度第3回有馬・野川生涯学習支援施設専門部会資料
（その他）・アリーノニュース 3月号（チラシ）
・としょだより 冬号（チラシ）

開 会

1 あいさつ（市民館館長）

2 資料確認等

3 議 事

(1) 令和4年度管理運営業務報告について

(2) 令和4年度利用実績・事業・収支報告について、境館長より資料1①～⑤を用いて説明。

(質疑応答)

津田委員

アリーノアウトリーチ企画 歴史講座「古代川崎の中心地 野川」について、参加者から、野川に来てくれてありがたい、これを機に野川小学校だけでなく、他の小学校でも開催してほしいといった声が上がっていた。

境館長

野川小学校は来年度創立150周年を迎えると聞いている。アリーノとしても企画を考え参加したい。

永野委員

コロナ前の令和元年度に比べ、利用実績は落ち込み具合が少ない。令和5年度は、コロナ禍前の令和元年度の数値に近づけていけたらと思う。

ジャンボかるたが継続されていることは、喜ばしい。

生駒副部会長

資料1-④ アリーノアウトリーチ企画は、アリーノ歴史講座と同じ講師であるか。

境館長

アリーノ歴史講座「いにしへの有馬・野川」と同じ、菅生中学校山本校長先生に依頼した。アリーノ歴史講座は有馬地区中心の話となったため、アリーノアウトリーチ企画では、野川地区中心の歴史講座を依頼した。

生駒副部会長

アリーノ歴史講座へ出席したが、山本校長先生の話はとても面白く、興味深いものであった。

境館長

歴史だけでなく、引き出しが多く飽きさせない講座だった。次回も依頼したい。

生駒副部会長

大人だけでなく、子どもたちへも聞かせたい。学校へ出張しても良いと思う。

境館長

資料1-①（学校関連）について、10月有馬小学校、11月西有馬小学校、1月有馬中学校と各学校行事に協力することができた。また、3月19日に開催する「アリーノフェスタ」へボランティアとして有馬中学校から学生が参加するなど、連携が

取れている。

(3) 令和5年度事業計画書について、境館長より資料1⑥～⑧を用いて説明。

新規事業として、提案しているものは以下の5事業がある。

- ・西口広場を有効活用し、年長児を対象とした「青空保育会」。
- ・「男子ごはん部」の参加者がおもちゃドクターとなる、「アリーノおもちゃ病院」。
- ・子どもの運動会や各種発表会前に、上手な写真の撮り方教室「ママさん写真館」。
- ・寄せ植え教室を開催していたグリーンロード有馬が協力。「我が家のブーケの作り方教室」。
- ・うたごえ広場を復活。デイホーム川崎・宮前が協力。「懐メロ広場」。

(質疑応答)

小倉部会長

脱コロナという観点から、活動の幅を広げようとの事だった。質問や意見、提案等はあるか。

野島委員

1-⑥ 4ページに地域との連携とあるが、3月19日のアリーノフェスタへ学生が参加することになった。地域の中に中学生の活動を取り込んでもらえることはありがたい。有馬中学校の生徒には、地域や社会に目を向け、地域に貢献する意識を持ってもらいたい。アリーノの企画に協働で企画から参加させてもらえることで、学校の中だけでなく、地域からさらに外に目を向ける良い機会になる。少しずつ関わられる機会を増やしたい。子どもと一緒に教員も参加するため、教員にとっても良い経験である。

1-⑥ 4ページに、アリーノ音楽コンサートの実施とあるが、地域の人々がプロの音楽に気軽に触れられることは素晴らしい。有馬中学校の吹奏楽部はアンサンブルコンテストの木管四重奏で東関東大会まで出場している。コンサートの前座に吹奏楽部の演奏ができれば良いのではないか。地域の、吹奏楽が盛んな小中学校の子どもたちが演奏を披露する場があれば、活躍を知ってもらえる機会になるのではないか。

境館長

若い世代をどのように取り込むかは課題になっている。8月のアリーノ子どもフェスタが、活動の本格的始動と捉えている。そこで、若い世代のダンスやパフォーマンス、音楽の発表の場を作っていきたい。

鴨志田委員

学校の先生からの積極的な意見は嬉しい。特に、アリーノという施設全体と地域の子どもたちの関わり合いの中で、市民活動支援コーナーの場所を提供できないか考えている。子どもたちが積極的に運営に関われる形で主体的な活動の場にしていくことが、今後、次世代に繋げる地域の役割ではないか。例えば、昨年末より民生委員の相談室の「ひだまり」という居場所づくりが始まっているが、若者にむけても青少年指導員や民生委員児童委員とも相談しながら、立ち寄れる場所ができればと思ってい

る。かわさき市民活動センターでは、若者に向けた居場所の提供などあるか。

小倉部会長

市民活動センターでは、子ども相談の事業自体はない。団体が自主的に活動することを支援している。

鴨志田委員

団体の活動の中に、若者に向けた事業はあるか。

小倉部会長

団体の活動の中にはあまりない。麻生区では麻生区SDGs推進隊が活動し、企画は大人だが、子どもたちが参加し、自分たちで考え協力し学んでいる。

子ども文化センターでは、子どもの委員会があり、事業の企画を子どもたちがしている。地域のマップ作りなどを行い、「第19回ぼうさい探検隊マップコンクール」

(一般社団法人日本損害保険協会など主催)に於いて東小田小学校わくわくプラザの作品が消防庁長官賞を取った。子どもたちが主催で子ども文化センターの職員がサポート役になっている。サポーターがいれば、小学生でも子どもたちだけで企画し、発表ができる。地域の防災や安全マップづくり、SDGsについて地域の企業や商店街で話を聞き、どのようにSDGsに繋がるか学んだことを発表するなど、子どもたちは学習興味がむくものであれば、自分たちで活動できる。

鴨志田委員

SDGs推進隊の募集について、有志参加であるか。

小倉部会長

有志参加である。麻生区では、40人ほどの小学生が参加している。麻生区市民提案型協働事業として活動している。市民活動支援コーナー運営委員会でも、市民活動支援コーナーの有効活用のために、大人が企画し、子どもを巻き込み地域を考えることを提案してはどうか。きっかけがあれば子供たちは興味を持ってくれる。

また、川崎市の小中学校へ科学の本を寄贈している東京応化科学技術振興財団が主催した読書感想文作文コンクールでは、本の帯やポップ、紹介カードを作成する部門もあり、数多くの良い作品が出ていた。アリーノでも、図書館で読んだ本の紹介文やポップを募集してはどうか。また、本の感想文ではなく、本の紹介文を募集することで、学校とは違い敷居が低く、国語が苦手な子どもも参加しやすいのではないかと。地域の中で小規模でやってみることで、アリーノの図書館に関わる人たちにも親しみやすいのではないかと。学校の長期休みの期間限定でコーナーを作って発表してみてもどうか。

生駒副部会長

野島委員の意見にもあったように、子どもたちが主体的に活動することが大切だろう。子どもたちが企画の段階から参加し、子どもたちの視点を大切にしながら大人も考えていけるようにしていけたら有意義だ。是非、有馬中学校とアリーノで、協働で

企画をしてほしい。

小倉部会長

「夏休み子どもフェスタ」の一部を子どもたちが企画したコーナーとし、子ども委員を募集してはどうか。一般公募で子どもたちを募集し、様々な役割を担ってみてはどうか。

鴨志田委員

川崎市こども夢パークの「こどもゆめ横丁」は出店まで子どもたちが企画している。

小倉部会長

例えば、一部屋を貸し、子どもたちだけでできる遊びコーナーや演奏などに使う、時間を決めて子どもたちの企画を行うなどで、子どもたちがお客さんではなくなることになる。その後も、子どもたちがお手伝いとして参加するようになるのではないか。学校へは子ども委員募集のチラシの配布を依頼し、申込はアリーノが担当してはどうか。

鴨志田委員

様々な意見を市民活動支援コーナー運営委員会へ持ち帰りたい。

市民活動協力事業「懐メロ広場」について伺いたい。多くの高齢者が生き甲斐として楽しみにしていた、「アリーノウたごえ広場」が、数年開催されず残念に思っていたため、新しく機会を持つことができ嬉しく思っている。「懐メロ広場」は通年開催の予定であるか。

境館長

通年開催にしようと思っている。

鴨志田委員

形態が違い、様々な工夫を凝らしてきた「アリーノウたごえ広場」も再開を目指したいと思っている。市民活動協力事業の内容としては、会場提供であるか。

境館長

基本的に会場提供している。

鴨志田委員

会場は有料であるか。

境館長

有料になる。

鴨下委員

参加者は無料か？演奏者などは有料であるか。

境館長

参加者は無料だが、演奏者については、市民活動協力事業のため、アリーノではなく主催者が検討中である。

(4) その他

小倉部会長

来年度に向けて、各委員から意見はあるのか。

永野委員

建物の維持管理について、長期修繕計画を捉えた時、窓周りのシーリング交換など防水工事が必要ではないか。

小倉部会長

アクティオより川崎市へ工事依頼の要望を出していくことが必要だ。建物そのものの改修工事のため、川崎市へ依頼となる。来年度の予算に組み込むためには、早めの要望を出すべきである。

閉 会